マルチブラケット装置

ブラケットとワイヤーで歯並びを整える装置

歯に接着した小さな装置（ブラケット）にワイヤーを通して、歯の位置や向き、かみ合わせを少しずつ整えます。自分で取り外すことはできません。



マルチブラケット装置の装着例

写真：提供写真

01 治療中の過ごし方

装着・調整後は、かむときだけでなく、何もしていなくても歯が痛むことがあります。痛む間は軟らかい食事するなどの工夫が必要になります。頬や唇に当たる部分は必要に応じて矯正用ワックスで保護し、強い痛みや長引く痛みは相談してください。

02 食事と装置の扱い

硬い物の丸かじりや粘着性の強い食品は避け、食べ物は小さくして食べるなど工夫してください。ワイヤーを引っ張ることや、ご自身で曲げることは避けてください。顎間ゴムは、位置・本数・時間の指示に従って使用してください。

03 歯みがきと定期診察

歯ぐきとの境目、ブラケットの周囲、ワイヤーの下を丁寧に清掃してください。フッ化物配合歯みがき剤や歯間ブラシを使用してください。むし歯・歯周病予防のためにも、定期検診・クリーニングを推奨しています。

04 外れたときと知っておきたいこと

歯の移動に伴い、ワイヤーが奥から飛び出して頬などに刺さることがあります。痛む場合は連絡してください。ブラケットが外れても痛みがなければ、次回の診察で付け直しますので、そのままでも大丈夫です。ご自身で引き抜くことは基本的に避けてください。気になることがあれば連絡してください。

予定どおり受診し、歯を動かす治療が終わった後も保定を継続してください。

装置や部品がのどに入り、息苦しさや激しいせきがあるときは、直ちに救急受診してください。

患者さん向け説明資料
QRコードからPDFを閲覧・保存

Ortho & Oral JOURNAL

© 2026 Ortho & Oral Journal